

科目の種類	選択必修 13名	科目名	英語演習	学年	3	単位数	3
コース	文理特進コース						
教科書	桐原書店 「2011年度版 センター試験 英語 オリジナル演習 TWINS 40 minutes 」						
副教材	学研 「英語問題総整理」 桐原書店 「総合英語 Forest」 啓林館 「Willing 整理と演習英文法」 桐原書店 「ベストポイント 英語頻出問題 740」						
科目のねらい <ul style="list-style-type: none"> ・国公立・私立難関大学への合格を目指し、受講者の読解力を高める。 ・志願校の過去問題を中心に実践形式で授業を展開する。 ・受講者の安全圏になるであろう日東駒専レベルの大学入試過去問題を解くことにより、実践問題形式に慣れ、解答する上での必要知識を得ることを目的とする。 ・最終的にはG-MARCHレベルの入試問題に取り組みせ、受講者の志望校合格へ近づけたい。 ・センター入試や英検でのリスニング試験に対応できるよう、実践力を養う。 							
授業の進め方 <ul style="list-style-type: none"> ・予習中心の授業を展開する。単語・熟語・文法・読解などありとあらゆる質問に答えられるように準備をする。次回分の問題を解き、和訳まで徹底して授業準備を行う事を前提として授業を行う。 ・問題を解く上での必要知識を授業内で伝える。 板書をまとめられるようノート等を各自で用意すること。 ・各ユニットごとにスコアを出し、自分の正答率を確認する。 ・学研の「Willing 整理と演習英文法」(2年次に使用した教材)を利用し、各単元で補充すべき問題を随時加えて問題演習する。一度既に解いた問題も何度も行うことで、解法のテクニックが身につける。2年次の復習も含めて、各自で進めること。 ・学研の「英語問題総整理」も授業内で扱い、項目ごとの文法演習をさらに深いものにする。特に右側のまとめは非常に分かりやすくまとまっているので頭の整理に使用すること。 ・入試過去問題を実際に解答させ、志望校合格を目指す。 							
より良く学習を進めるためのアドバイス <ul style="list-style-type: none"> ・辞書、参考書『Forest』は強い味方である。授業時には、いつも傍に置いて学習に取り組むようにする。 ・予習を徹底して行うこと。 あらかじめ問題を解き、その問題のポイントを理解するまで徹底して予習を行うこと。 ・長文予習の際には「いつ」、「どこで」、「誰が」、「何を」、「どうした」のかを頭で整理しながら予習を進める。難しいと思われる英文はより多くの時間をかけて考える。 							
評価方法 <p>テストについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期試験の得点を中心に評価する。その他、授業内で実施する小テストも評価に加味する。 							
<p>平常点について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小テスト・ノート・授業への参加態度、意欲・関心・態度も評価に加える。 ・文理特進コースである以上は、授業内での私語は厳禁である。授業態度にてについても厳しく指導する。 							

	学習単元	単元の内容とねらい
前期	福子油剤第1回～第4回試験 近年のセンター試験過去問題より抜粋	試験の傾向を掴み、自分の苦手・不得意な問題の対策を練る。
	第1回	定期考査
前期	第5回～第10回試験 近年のセンター試験過去問題より抜粋	何より時間との戦いである。時間配分を考えながら、自分自身の解答時間を設定する。
	第2回	定期考査
後期	近年のセンター試験過去問題より抜粋 難関私大過去問題より抜粋	長文の速読の力を養う。「速く、正確に」をモットーに実践力を高める。スラッシュリーディング・パラグラフリーディングにも慣れさせる。
	第3回	定期考査
後期	近年のセンター試験過去問題より抜粋 難関私大過去問題より抜粋。 国公立2次試験対策。	入試直前のこの時期は、単語・熟語の確認、文法の総復習を各自で重ねる。 授業では重要ポイントの確認に努めたい。
	学	末考査